

Q. 図書館建設は進め方に問題あり

A. にぎわいの図書館を建設する

地域局・市民センターに職員配置を

石部 「合併後不便になった」との声が多いが、各地域局・市民センターの職員と機能の充実を求める。

総務部長 行革の途中であるが、地域の意見を聞き、きめ細かく予算や人員の確保をしてきている。

新図書館について

石部 駅前への図書館建設はいつ決定したのか。「中央図書館」という位置付けか、どのような機能を持たせるのか。

市長 8月に明快に述べた。駅前に多くの人が集える図書館にしたい。中央という言葉にはこだわらない。機能については基本設計の中で示していく。



ここを聞きました

- 新年度予算編成に向けた市長の政治姿勢を問う
- 学童保育の充実について
- 図書館建設計画について
- 備中高梁駅バリアフリー化と西側交通広場整備について

石部 機能について決めて決める建物設計するのは異常だ。そもそも、中央図書館建設基本構想に機能は記述されている。これから論議して進めるとしているが、基本構想に基づかず行うのか。

教育次長 基本構想に基づき、場所とは別のところで論議している。バランスよく機能の抽出をする。

石部 今までの進め方に問題がある。市民や議員に誤解をよび職員に苦勞を与えている。ワークシヨップの結論でも、駅前にはサロンのな図書館はできても、中央図書館はできないと言っているが。

政策監 明治大学の小林先生の私見である。駅前のにぎわいの図書館建設を進めていきたい。



ここを聞きました

- 高梁市定住促進住宅建築費等助成金について
- 観光政策について
- 市内の農福商連携事業について
- 住宅リフォーム事業費補助金について

高梁市定住促進住宅建築費等助成金について

倉野 市内業者の施工に限定されているが、市外業者も対象にできないか。

市民生活部長 市外業者まで対象を広げる方向で検討している。

観光政策について

倉野 市街地から備中松山城が十分見えないが現在のままでよいのか。

産業経済部長 関係機関の協力によって伐採や枝打ちができていく。できるだけ城が見えるようにしていきたい。

倉野 城に山田方谷ゆかりのものを作って観光客に方谷さんを知ってもらってはどうか。

産業経済部長 教育委員会と前向きに考えたい。

市内の農福商連携事業について

倉野 市内で民間事業所の設置を検討されているが市はどのような支援を考えているのか。

健康福祉部長 障害者雇用だけでなく色々な分野で効果ある施策を考えており、事業者と協議しながら支援していきたい。

住宅リフォーム事業費補助金について

倉野 一定の業者が一度に数カ所分をまとめて申請すると予算がなくなってしまう。これは本来の目的と違うのではないか。

市長 3年間で補助金7000万円、円で11億円の事業を行っており、経済波及効果を4億7000万円と見込んでいる。事業者の割り当てはできないが、多くの事業者が利用できるよう考えていきたい。

Q. 観光客が利用しやすいよう櫛井の展望台の整備を

A. 近隣のトイレなどを案内するパンフレットを置く

人口減少時代に直面しコスト意識を持った財政運営を

石井 公債の返還計画は、新総合計画にある平成31年度目標人口の3万3000人が基準か。

総務部長 毎年、前年の決算統計を基に、将来人口推計などを参考にしながら10年後を見据えた財政運営適正化計画を作っている。

石井 定住対策の成果は現れているが、依然として人口は減っている。少子高齢化は自治体の財政を悪化させると思うが、どうか。

総務部長 実施計画を毎年度見直し、歳出とのバランスを見ながら財政計画を考えていく。

石井 コスト意識を持った財政運営をお願いしたい。



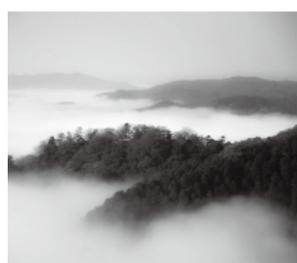
ここを聞きました

- 駅前周辺整備計画について
- 将来の財政予測について
- 備中松山城の観光について
- 公共施設の有効利用について
- 都市ビジョン(地域編)について

備中松山城展望台観光客増加に伴う整備を

石井 櫛井の展望台が整備され、観光客が増加している。しかし、トイレがないため有料のバイオトイレなどを設置できないか。

産業経済部長 現在、展望台を使っている人数を調査している。今の時点では、近隣にあるトイレへの案内パンフレットを置くことを考えている。今後は周辺環境に配慮した仮設トイレのようなものを検討していく。



雲海の中にたたずむ備中松山城

友好都市茨城県筑西市を親善訪問しました

10月31日・11月1日の両日、市長、議長、副議長、新人議員ら10名は、高梁市の友好都市である茨城県筑西市を親善訪問しました。筑西市は、江戸初期に備中松山城城主となった水谷氏のふるさと。市内でも見晴らしの良い高台に建つ定林寺には、歴代当主の菩提が残っています。そんなつながりから昭和54年に旧高梁市と旧下館市が友好都市となり、合併後も定期的な交流が続いています。

訪問団は、筑西市議会や市長、市の職員から手厚い歓迎を受け、両市の現状や課題について意見交換を行い、今後とも両市が力を合わせて発展していきたいと友好を深めました。



筑西市役所前にて